

日本エネルギー学会  
平成30年度「バイオマス夏の学校」開催のお知らせ

主催：日本エネルギー学会バイオマス部会

共催：NPO 法人バイオマス産業社会ネットワーク (BIN), 愛媛大学

バイオマス部会では、バイオマス利活用に関する深い理解とバイオマス研究者との交流を図るため、年一回、一泊二日のセミナー「夏の学校」を実施しています。今年度は林業や紙産業など木質バイオマスの利用が盛んな愛媛県で開催します。松山市は、県内初の木質バイオマス発電所があり、地域経済の活性化とエネルギーの地産地消を目指しています。また、四国中央市は“日本一の紙の街”として有名ですが、紙産業は、木質バイオマスを活用した産業において最も成功した事例の一つと考えられます。木質バイオマスをエネルギーやマテリアルとして利用している産業施設の見学と、関連する講演を通して、今後のバイオマス利活用の可能性や社会実装のあり方について議論を深めましょう。皆様のご参加をお待ちしております。

●日時：2018年9月4日（火）～5日（水）1泊2日

●場所：愛媛県内のバイオマス関連施設、製紙工場

●定員：40名（定員になり次第締め切ります）

プログラム（予定）

第1日目（9月4日（火））

12：30 松山空港  
13：30 JR松山駅集合、バスで移動  
14：30～16：00 松山バイオマス発電所（松山市大可賀3丁目）見学  
愛媛県内で初の木質バイオマス発電所です  
16：40 宿泊先到着（ホテルメルパルク道後、松山市道後姫塚123-2）  
17：00 講演会 愛媛大学 内村浩美教授（演題：お札の技術と新たな紙製品開発の可能性）  
19：00 交流会（イブニングセミナー）、自由討論など  
交流会の後、道後温泉もお楽しみいただけます（外湯は有料）

宿泊

第2日目（9月5日（水））

8：30 宿泊先 発  
10：30～12：00 大王製紙株式会社 三島工場（四国中央市三島紙屋町5-1）見学  
国内で最大規模、世界でも単一工場としては、最大規模の製紙工場です  
12：30～13：30 昼食（現地で個別会計予定）  
14：00 JR伊予三島駅 解散  
（JR松山駅（15：30頃）、松山空港（16：00頃）でも下車できる予定です）

◆参加申込要領◆

※原則として、日本エネルギー学会会員、共催団体の会員を参加資格とします。

※参加者の親睦を図るため、宿泊先では男女別の相部屋制とさせていただきます（5人1部屋程度）。

※工場見学の際、踵の高い靴（ヒールなど）は御遠慮下さい（安全上、問題になる可能性があるため）。

※二日目の昼食は、時間によって省略する可能性があります。

(1) 参加費：一般20,000円、学生15,000円前後（宿泊先1泊2食、貸切バス代等込み）

プログラムの詳細は、事前に参加者にEmailにて御連絡します。

(2) 申込締切：2018年8月10日（金）

※但し、定員（40名）に達し次第、締め切ります

**(3) 申込方法：**件名を「バイオマス夏の学校申込」として、Email にて下記項目を申込み先にご送信下さい。

1. 氏名：
2. 所属（学生の場合は学年も）：
3. 住所：
4. TEL：
5. E-mail アドレス：
6. 会員種別：日本エネルギー学会会員／バイオマス部会会員／バイオマス産業社会ネットワーク会員

**(4) 申込・問い合わせ先：**愛媛大学 紙産業イノベーションセンター 秀野

TEL：0896-22-3230 FAX：0896-22-3231

E-mail：a-hideno@agr.ehime-u.ac.jp

**(5) 支払方法：**当日現金払い。開催 10 日前よりキャンセル料を頂きます。